

日吉津村自治基本条例策定委員会（第4回）議事録

日時：10月31日（水）午後7時30分～9時30分

場所：役場第1、2会議室、第3会議室、委員会室

出席者 田中委員長、山路副委員長、長谷川委員、松岡委員、河中委員、奥田委員、池田委員、成瀬委員、住田委員、西委員、三島委員、建部委員、破戸委員

欠席者 山崎副委員長、井上委員、田邊委員、高森委員、土井委員、松本委員、川原委員

事務局 前田課長、高田課長補佐、福井主査、矢野係長

委員長あいさつ

今回も前回と同様にグループ別に討議を行う。

協議

（事務局）

- ・中川アドバイザーが体調不良により、急遽欠席。
- ・グループ討議を引続き行い、午後9：00から全体会議予定。
- ・資料により視察研修について説明。11月25日に兵庫県朝来市（生野）に日帰りで。
- ・資料確認（アドバイザーへの質問項目）。
- ・第3回議事録について、ご意見等があれば11月5日までに。
- ・第2回議事録について、ご意見が無ければHPへ掲載する。

（委員）

- ・了解

自治基本条例の内容の検討について

グループ討議

検討資料（各委員意見集約）について

グループ1

村民

補助金体質から抜け出れない人が多い。

- ・近年、行政側から、何かにつけて「金がないから...。」という発言が多い。村民も、行政に金がないのは分かっている。「金がないから...。」という発言はやめるべき。
- ・三位一体改革を発端に補助金が削減され始めた。
- ・活動によっては補助金を削減されても仕方ないのでは。
- ・自治会運営も苦しくなっている。

「広報」を発行しても...住民に伝わっていないのが常である。

防災無線の電源を切って...一筋縄ではいかない。

- ・読んで見てもらえる広報誌づくりが必要、他自治体ではタイトルとイラストのレイアウトを工夫し、文字は極力減らして、簡単な広報誌づくりに努めた結果、読んでもらえるようになったとのこと。
- ・村民、行政は防災意識が低い。

自分たちが住む地域、村は自分たちが創っていかうという認識を持つ。

住んでいる村づくりは、...何か明文化できたら良いと思う。

- ・まったくそのとおり。条例に盛り込むべき。

村民は、サービスを期待するのであれば、...参画して行動する。

- ・まったくそのとおり。税や使用料の滞納問題がある。まずは責任（納税）を果たさなければならない。

地方自治に積極的に参加する意欲を有すること。

海岸河川等自然を大切にすること。

- ・まったくそのとおり。

日吉津村でも色々なイベントが...企画・PRが必要では。

- ・まったくそのとおり。参加へのきっかけづくりが大切。

もっと率直に意見を言う。行政や議会は、受け止める技量をそなえること。

- ・せまい日吉津は親戚関係が多く、言いたいことも言えない場合がある。
- ・施設管理（体育施設や公園）等、窓口を一本化（例：公民館）すべき。建設した部署が管理を行うのは行政の都合であり、利用者の都合を第一に考えるべき。

働き場所の多くは村外だ、...視野を持った人がたくさんいるに違いない。

- ・豊富な知識・経験・視野を持った人はたくさんいる。もっと活用すべき。

日吉津の良い風土づくりをする。

- ・景観を大切にしたい。最近派手な外壁の住宅が増えてきた。派手な色とか何とかしたい。
- ・このような問題への対処方法として、地区計画制度がある。地区計画制度を有効に活用し、地域の景観を守っていく手法がある。

地域

旧集落の高齢化と老人世帯の増加。

- ・上口 2 区は市街化区域になってから 30 年経過。当時多くの住宅が建築されたが、住宅の間取りは 3 世代暮らせる広さがない。子どもたちの多くは親世代と別に暮らしており、高齢化が加速している。旧集落は昔からの多世代が住める間取りとなっているが、昔に比較して同居が減っている。

グループ 2

地域

自治会の区域割りや組織のあり方を早急に進める時期に来ている

- ・地域にある意見を集約すると、自治会活動を活発化しないといけないし、そのために大いに自治会公民館を利用しないといけないということが述べられている。まったくそのとおりだと思う。
- ・地域の人と出会う機会があり、その話の中で、自治会の地域割・区域割も見直したほうが良いのではないかと。異動しても前の自治会との付き合いを続けているのはおかしいということが出ていた。これは特に若い人の意見だった。
- ・自治会の地域割など自治会のあり方も再考が必要ということだと思う。

すばらしい公民館はあるが...公民館の活用はできないか

- ・公民館開放とあるが、良い事だと思うが治安上心配。やはり管理をしっかりしないといけないと思う。
- ・現実問題としては難しいが、できれば何らかの形で管理者がいると良い。

新住宅地域のアパート...自治会未加入の対応

コーポ等集合住宅に...自治会に入っていたくような声かけを

- ・新しい住民に自治会に加入してもらいたい。自治会費も払って運営されるので、住まれる以上は入っていたきたい。
- ・日吉津に住んでいるだけで、勤務は米子である。地域と付き合いの必要性がないと思っているのではないかと。
- ・たとえば、準会員ということで入っていたくとか。
- ・基本条例で「自治会に入らなければならない」というものを作っても良いのではないかと。...同感である。

コミュニティー活動の原点は...その輪を広げるように

- ・向う三軒両隣のなものが復活出来ないかなと思う。何か方法は無いかと。
- ・いろいろなことを含めて、地区公民館の開放を推奨したい。
- ・公民館に行けば、話しが出来て情報収集も出来るようにしたい。
- ・井戸端会議が出来れば良い。
- ・昔の良いところを復活させるということ。
- ・人とのつながりを強くするという意味では、例えば年寄りには「七福会（介護予防事業）」で、公民館に集まり昔と違った繋がりが良いと思う。
- ・公民館を開けるといふか、活用するということではないかと。

自治会役員を決めるのが難しくなってきた

- ・自治会組織も地域割りと同様に、検討していかないといけないと思う。特に女性の登用も必要ではないかと。手伝いみたいな感じである。
- ・村内の環境を維持する。河川等にゴミが多いので、地域を良くするため環境美化が必要だと思う。（追加意見として）
- ・村民の中にも海岸・河川等自然を大切にする意識を持つこととある。大事だと思う。
- ・地域としての環境美化、村民から見た自然を大切に

からも重要だということだと思う。

その他

日吉津村のシンボルマークチューリップのイメージがなくなりかけている

- ・実際にチューリップというものが減ってきており、いつまでも大事にするのではなく、そろそろシンボルマークを変えてはどうか。
- ・村の花だから簡単には止めることはできないのでは。
- ・チューリップを活かしていくなら、チューリップを何か変えることが出来ればと思う。

ガッツ日吉津っ子を育成すること

- ・もっと村民に知らせたり、これを目標に子どもを育てていくという雰囲気をつくっていく必要があると思う。
- ・一般の会員等は理解しているのだろうか。
- ・あまり理解していなければ、PR（封筒に掲載する等）が必要。
- ・言葉は入っているが、何を目指してとか、どういう事でとかと言うことはPTA会員におりていないのでは。
- ・浸透させていかないといけないと思う。
- ・ガッツ日吉津っ子は出来たものなので、いかに活かしていくかが大事だと思う。

良かった・良くやった...村としての表彰はどうか

- ・体育関係はあるが文化の面での表彰もあつたら良いのではないかと思う。

うなばら荘について...村民の意見を聞く場があっても良かったのではないか

- ・村民の意見を聞く場があればと思う。

グループ3

全般的に

- ・この条例は今後色々なことを議論してできるが、3,100人余りいる住民が見て納得できるものになるだろうか。村民すべての人に見てもらって理解してもらえるものにしなければならない。住民が絶対一度は読んでおかなければいけないというようなものに。
- ・そこが一番大事だ。条例を理解し、いかに身近に感じてもらうか。ただ言葉を並べて条例を作ることは簡単だろうが、住民が理解し、それを活かそうとやる気になってくれなければ、住民に理解してもらうのが一番大事で難しいのだろう。
- ・座談会で役場職員は説明をしないで、関わっている委員が説明する形ができれば関心をひくのではないか。
- ・座談会だと一世帯から一人しか出席しない。家族みんなへの周知方法をどうするか。生野に視察に行くので、視察先の住民に聞いてみたい。
- ・生野の総合計画の中には地区計画がある。3校区ごとに地域の人が集まり話し合っただけで決まったものが掲載。委員も希望の施策に入り、そこに役場職

員も加わりながら実践している。特急列車を止めようと話し合わせ、駅に花を植えるなどユニークな活動をし、年2回くらい報告会をしている。コミュニティを活性化しようというのは大事だと思う。条例が決まったから住民が関心をもつというものではないと思う。

- ・先日、妻が公民館や新田川周辺に花を植えに行った時、新しい住宅やアパートの人が子連れで参加してくれた。新しく日吉津に来てくれた人を巻き込もうという動きもある。
- ・運動会の慰労会の際、公民館が満員になるほど来てくれた。弁当を配ってサヨウナラではもったいない。親睦をはかる良い機会だ。その日も酒を飲み、語りあった。
- ・自治基本条例を策定する動きと並行して、受け皿づくりのコミュニティを同時進行で進めていかなければうまくいかないかも。
- ・条例は難しいものでなく、とっつきやすいものを作ろう。
- ・立派な文言だけだと「役場が作ったものだ」という感じに受け止められかねない。「条例でこんなことが話されているよ」と住民に関心をもってもらうことが必要。
- ・「自治基本条例」というネーミングはイマイチ。
- ・北栄町は、最初「まちづくり基本条例」で話を進めていたら、結局、「自治基本条例」になった。「まちづくり」だと何でもアリみたいでインパクトにかけるとい話になったようだ。
- ・「議論せずに出来たもの」と「議論して出来たもの」では、みんなが汗をかいた分、違いがあるはずだ。
- ・全日本ターゲット・バードゴルフ大会の初日に会場に行ったが、人がいなくて寂しかった。
- ・広報にも掲載し、防災無線で放送したが、広がりがなかったか。
- ・割り当てがなくなってから盆踊りに参加しやすくなった。
- ・ふれあいフェスタの自治会出品も割り当てがなくなった。しかし、肩を押してもらわないと動いてくれない人が多いので、少しぐらい出してもらおうようお願いはしてもいいと思う。
- ・盆踊りは踊らないと忘れるし、後世に伝えなければならない。
- ・公民館の開放と書いてあるが、日上2は卓球台などの遊び道具もそろえて夏休みに開放を試みたが子どもだけで何かあるといけないので大人も来なければならなかった。物が壊されてもいけないし。...当番制ではダメか。
- ・学校が週休5日制になったときに、何もしなくていいので公民館でみてと提案したができなかった。
- ・毎日でなくて、例えば、土・日曜日だけでもいいかも。いらなくなった本を持ちよってでも遊べる。
- ・公民館開放といっても、どの程度までの開放か。

- ・できる範囲内でやればということではないか。
- ・公民館は広々としており、始めの1～2回顔を出したが、利用者も結構いたように思う。何かあるときだけ利用するのではなく、いつでも利用できるようにね。
- ・子育て支援センターの利用者も多いみたい。コミュニティづくりの活性化に取り組んでいったらいいのではないかな。...富吉は近々話をする予定。

全体会 21:10～

グループ1

- ・**村民**の討議が終わり、**地域**に入ったところ。色々な意見が出た。

グループ2

地域...公民館と自治会活動を中心に話し合いを行った。

- ・自治会活動をもっと活発にしよう、公民館をもっと利用しよう。
- ・地区公民館の鍵を開放し、各年代のふれあいの場にしよう。治安、管理者等心配な面もあるが。
- ・自治会の区分けの変更が必要。役員に女性の登用も必要ではないか。
- ・新しい転入の方の未加入が多い。何らかの条例化が必要ではないか。

その他

- ・河川・海岸等の環境(ごみ等)が悪くなっている。村民・地域としてルールを決めるなど何とかしなければならないのではないかな。
- ・チューリップのイメージがあったが、それに拘らずその他の花でも良いのでは。また昔の良さを取り戻すための活動が必要ではないか。
- ・ガッツ日吉津っ子の育成を進めよう
- ・文化面での表彰制度が必要ではないか。
- ・うなばら荘を村民自体が自信を持ってPR出来るようにする。話し合いの場も必要。

グループ3

- ・運動会のことや盆踊りのことの話し合いが中心だったが、地域の公民館の開放について話し合った。コミュニティ活動が大事だという話だった。各自治会のコミュニティ活動も平行していかないといけない。

その他

- ・話が途中であるグループは議論を引続き進め、議論いただいたものを条項ごとに振分けるので、それを見ながら議論を深めていただく。次回には配布を予定する。
- ・次回は、11月21日。

閉会